

編集後記

私が所属している筑波大学は、広いキャンパス、自然溢れる環境、研究学園都市などイメージがありますが、いざ住んでみるとラーメン屋の多さに驚きます。「ラーメン屋なんてどこでもあるもんだが」と思うかもしれませんが、つくばは北関東ではラーメン激戦区としてちょっとだけ有名らしいです。昨年だけでも、近くに新しい二郎系ラーメンや担々混ぜそばの店ができましたが、後者は営業終了してしまいました。恐らく、既存の強豪との競争に負けてしまったのではないかと考えています。

昼休みの昼食としてラーメンを週3-4回ほどいただく生活を5年ほど続けました。その結果、体重は自己ベスト(ワーストでしょうね)を更新し、0.1 tonも目前でした。毎年行っているLHD内壁調査時の作業着がそろそろ着れなくなる寸前のところで、住まいから徒歩圏にジムができたので、登録してみました。通って1か月と過ぎるところですが、軽いランニングを加えて、ラーメンを減らしただけでもベルトの通す穴が一つ増え、お腹周りが軽くなっていくのが実感できています。現在は毎日通っていて、行きたくない日が半分以上ですが、パートナーのプッシュを借りて無理やり行くようにしています。一人だと少し無理に思える小さなことが二人だと軽く乗り越えるのは人生の場面でも多々あります。研究もこのように、毎日スイスイ行ったら良いのにと、つぶやいてみたりするこのごろです。(皇甫度均)

ちょうど2年間の初編集委員期間を終えるタイミングで後記執筆担当となりました。月1回の委員会では、先生方から提案される記事案が興味深く、私にとっては勉強となる有意最近義な時間でした。各方面でサポートいただきましたBPP部門及び他部門の先生方、北澤様をはじめとする事務局員関係者の皆様に感謝の意をここに表させていただきます。

この時期は趣味のバスケットボール観戦が熱いです。本後記執筆日(6/16)は、アメリカプロバスケットボールリーグNBAのファイナル真ただ中で、アメリカ西海岸と東海岸の1位が優勝をかけて闘います。4勝先取で優勝ですが、6/16時点で2-2のイーブンです。今回面白いのが、近代バスケットに見られる高確率なシューター陣の早いトランジションオフェンスを展開する超攻撃的チームと、高運動量でのタフディフェンスから速攻を徹底するチームの決戦なのです。リーグ最高のオフェンスとディフェンスが交えるまさに矛盾決戦の注目カードで、今頭の中はNBAのごとていっばいです。

日本のプロバスケットボールリーグ(Bリーグ)も熱いのです。Bリーグは2016年に誕生したプロリーグで、これまで試合は土日連戦でしたが、来シーズンからは平日水曜日にも試合が行われ試合数も増えます。注目すべきは、日本のバスケ人気に伴いリーグ全体の収益がここ数年飛躍的に伸び続け、試合数を増やしても収益を十分に見込めるレベルにリーグが成長しているという点です。選手年俸も世界水準を上回り、有力外国人選手も多く所属しています。各地でアリーナも建設され、より一層盛り上がりを見せるスポーツビジネスとなっており、これは数年前からバスケット界隈の間には全く想像もしていなかったことです。NBA所属の八村塁選手やNBA下部リーグ所属の河村勇輝選手の活躍に加えて、日本のプロリーグでハイレベルな試合が多くみられる状況に、今後の日本バスケの明るい兆しをタイムリーに見られることを幸せに思います。これに感化され、またバスケをやろうと思う今日この頃です。(古川武留)

プラズマ・核融合学会 役員

会 長	花田磨砂也			
副 会 長	大野哲靖	坂本瑞樹 (推薦委員長: 学会賞・男女共同参画委員長)		
常務理事	榊原 悟 (総務委員長)			
理 事	渥美寿雄	居田克巳	稲垣 滋 (企画委員長) 井 通暁 (年会運営委員長・研究部会連絡委員長)	
	大原 渡	兒玉了祐 (広報委員長)	古閑一憲 (支部・地区研究連絡会委員長)	
	坂本克也	仙波智行 (財務委員長)	高木浩一	高橋幸司 (企業展示検討委員長)
	田中康規	鳥養祐二	村上 泉 (編集委員長)	山田弘司 (推薦委員長: 研究助成)
	吉田麻衣子			
監 事	前田達志	波多野雄治		

プラズマ・核融合学会 領域長

基 礎 大原 渡 (山口大) 応用 田中康規 (金沢大) 核融合プラズマ 居田克巳 (核融合研) 核融合炉工学 渥美寿雄 (近畿大)

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ: 村上 泉 (核融合研) 副委員長: 鳥養祐二 (茨城大)
エディタ: 稲垣 滋 (京大), 重森啓介 (阪大), 高橋裕己 (核融合研), 石澤明宏 (京大), 大矢恭久 (静岡大)
編集委員: 伊藤 悟 (東北大), 犬伏雄一 (JASRI), 太田雅人 (核融合研), 小田靖久 (摂南大), 梶田 信 (東大), 葛山 浩 (鳥取大), 河内裕一 (名大), 熊谷公紀 (量研), 篠原正典 (福岡大), 白戸高志 (名大), 鈴木陽香 (名大), 瀬戸春樹 (量研), 曾根宏隆 (豊田自動織機), 高橋一匡 (長岡技科大), 武村勇輝 (核融合研), 中村友祐 (名大), 成田絵美 (京大), 難波慎一 (広島大), 沼波政倫 (核融合研), 信太祐二 (北大), 浜地志憲 (核融合研), 廣田 真 (東北大), 松岡清吉 (量研), 文 贊鎬 (九大), 本島 巖 (核融合研), 柳生義人 (九大), 山崎広太郎 (広島大)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第101巻第7号

編集・発行
〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階 印刷 株式会社荒川印刷
一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会 2025年(令和7年)7月25日
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485
E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: https://www.jspf.or.jp/ 定価1,430円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。